

渡辺復興大臣の「ふくしま復興フェア」視察ぶら下がり会見録
(令和元年8月9日(金) 11:25～11:30 於) 中央合同庁舎4号館)

1. 発言要旨

本日の「ふくしま復興フェア」に私も参加させていただきました。今年度の「ふくしま復興フェア」については、各省庁、まず外務省から始まりまして、過去最多15省庁が参加しての開催となりました。

昨日も福島に行ってみいましたけれども、やはり福島の皆様方が心配しているのは、風評払拭をどのようにしていくかということでもありますので、このような「復興フェア」を通じて、多くの方に福島産は安心ですよ、おいしいですよということを広めたい。その役割は果たしているのではないかと考えております。

今後とも復興庁としましても、この「ふくしま復興フェア」をしっかり応援してまいりたいというふうに思います。

先ほどお話をしたのですが、在京大使館の皆様にもぜひとも福島県に行っていただきたいということで、7月30日～31日、1泊2日で大使をはじめとして、14名の大使館関係者の方々に福島をご案内し、最盛期であります福島県産の桃のもぎ取り体験をしていただきました。今後も風評払拭に向けた取り組みをしてまいりたいと考えております。

2. 質疑応答

(問) 感想をいただけますか。

(答) まず、確かに小さな展示販売スペースではありますが、商品がコンパクトに展示されております。多くの職員や担当者の皆様方にアピールできたのではないかと考えております。

(問) 何が一番気に入られましたか。

(答) 私にとって福島産は全てです。やはり全てに関心がありますし、それぞれの商品について良さをやはりアピールしていくことが大事ではないかと考えております。旬のものとしては、やはり福島の桃です。ぜひともおいしい桃を皆様方に召し上がっていただきたいと思っております。

(問) 試食されていかがでしたか。

(答) おいしかったです。やはり福島の桃は甘いし、みずみずしい。ぜひとも皆様に来ていただきたいというふうに思います。

(問) 先ほど風評のお話もされていましたが、風評払拭というのは復興庁も、政府としても取り組んでこられた課題だと思います。ただ、やはりまだ払拭し切れていない部分が残っています。今後、どういう課題があって、大臣としてはどういうふうに取り

組んでいけますか。

(答) まず、風評払拭というのは一朝一夕にはできません。少なくとも多くの方に福島にまず関心を持ってもらうということなのです。福島は安全であると。放射線云々という形で、福島は危ないのではないかという印象を払拭することが、第一段階だと思います。そういった意味においては、市場に出ている福島県産の品物は全て検査を通した安全・安心なものであるということをもっともっとアピールしていきたいと思っています。そしてこのような形で各省庁において「ふくしま復興フェア」ということをやることによって、多くの方に福島産をじかに取って、自分で食べて、ここでしか体験できないことをもっともっと広めていく必要があるなというふうに感じます。

(以 上)